

科目名	建設環境工学演習Ⅲ Practice in Civil engineering III			担当教員	水越陸視		
学年	5年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	演習	科目番号	15134038	単位区分	履修単位
学習目標	RC構造の演習課題として、T形断面の応力算定、偏心荷重を受ける柱の耐力の算定方法を習得し、許容ひび割れ幅の検討方法を習得し、設計に活用することができる。 また、土木構造物の維持管理（メンテナンスとマネジメント）の基本を学び、管理の在り方について、自分で作成した資料を用いて自分の考えを述べることができる。						
進め方	主として配付プリントと教科書を用いて授業を進めていく。講義と演習を組み合わせた形式で実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. RC構造の演習(13) (1)矩形断面の曲げ割れ幅の算定 (2)T形断面の曲げ応力度と曲げ耐力の算定 (3)偏心荷重を受ける柱の断面耐力の算定			T形RC断面および偏心荷重を受ける柱の応力度と曲げ耐力、曲げひび割れ幅を算定することができる、設計に活用できる。 (C-1, C-2)			
	[前期中間試験](2)						
	2. 土木構造物の維持管理の基本(14) (1)メンテナンスの現状と課題 (2)メンテナンスの基本 (3)構造物の劣化のしくみ (4)構造物の点検と評価方法の基本 (5)構造物の補修・補強の方法 (6)構造物のマネジメント			土木構造物の維持管理の基礎的事項を理解し、維持管理に関する自分の意見を述べるができる。 (C-1, C-2)			
	前期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の内訳は、定期試験を80(%)、演習課題への取り組みとその内容を20(%)とする。 ・評価評価60(%)以上を合格とする。 						
履修要件	特になし						
関連科目	建設材料学(3年)、建設環境工学演習Ⅰ(3年)→建設構造設計学(4年)→建設環境工学演習Ⅲ(5年)						
教材	配布プリント						
備考	再試験を実施する。						